

◆新病棟特集◆

- ◆新病棟特集 エクセレント・ホスピタルを目指して.....2
- ◆新病棟特集 新病棟内覧会.....4
- ◆新病棟特集 新病棟竣工記念式典.....5
- ◆新病棟特集 松本病院が新棟へ引越.....6
- ◆事務部長ご挨拶・薬剤部長ご挨拶.....7
- ◆管理課長ご挨拶・副看護部長ご挨拶.....8
- ◆HALの紹介.....9
- ◆6病院研究会.....10
- ◆平成28年度 第2回院内研究発表会.....11
- ◆新任・退任医師紹介.....12
- ◆浅田記念クリニック紹介.....13
- ◆医療安全研修「DNAについて」.....14
- ◆平成29年度 出前講座報告と今年度の予定について.....15
- ◆お知らせ.....16

2017 **6**

31号

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization



Matsumoto Medical Center

まつもと医療センター

松本病院
中信松本病院

エクセレント・ホスピタルを目指して



院長 長 喜 良
院 野 北

まつもと医療センター新病棟が竣工し、平成二十九年三月十九日に内覧会・記念式典・祝賀会が開催されましたのでご

報告いたします。

今日は年度末の三連休のなか日にもかかわらず、多くの方々にお越しいただき、まことにありがとうございます。

まつもと医療センターは、平成二十年四月、ともに長い歴史のある松本病院と中信松本病院が組織統合して誕生いたしました。二つの病院が一つにまとまることがわれわれの夢でしたが、お蔭さまでようやく新病棟が完成し、その夢を実現できることとなりました。三月二十六日、松本病院の病棟・手術室・放射線科・検査科等が新病棟に引越し、平成三十年五月に中信松本病院が村井の地に引越し、まつもと医療センターは一つに生まれ変わります。二つの病院が一つにまとまることにより診療機能が高まり、救急医療・がん診療・各種専門的医療から障がい者医療まで、より質の高い医療を提供できると確信しております。

さて、最近、歴史は作るものだとつくづく感じています。作らなければ歴史に残らないと。一方、何もしないでサステナビリティを維持できなければ、歴史から消滅してしまうと。

話は平成十七年にさかのぼりますが、当時、医師不足とそれに伴う経営不振にあえいでいました。平成十八年七月より松本・中信松本病院連携推進ワーキンググループで一組織化についての検討が始まり、この過程で本日に至る道筋が形成されました。平成十九年十月、当時の理事長であられた矢崎先生が当地をおとすれ、二病院間での診療科集約の合意がなされ、平成二十年四月にまつもと医療センターが誕生いたしました。

初代院長を務められた米山先生を先頭にとにかく経営改善に努め、平成二十年四月に建物整備が承認され、一体化整備・運営推進プロジェクトチームの活動がスタートしました。病院一丸となって行った努力により、平成二十四年度より三年間連続して黒字を達成することができ、建設界の厳しい経済状況もありましたが、平成二十七年三月の三回目の入札で落札することができました。経過を振り返ってみますと、長野県健康福祉部、信州大学医学部、松本市と塩尻市の行政の方々、松本市医師会、塩筑医師会の方々にはいろいろと相談させていただき、多くの助言もいただきました。この場を借りて深謝いたします。また、国立病院機構本部・グループのご理解とご支援を得て病院運営をすることができたことが、新病棟完成への道に繋がったと考えております。われわれは歴史を刻むことができました。そのみならず、さらなる発展での可能性をキープすることができました。



ところで、まつもと医療センターは、エクセレント・ホスピタルを目指して地域とともに発展して行きたいと思っております。平成二十六年以降の院長講話などでエクセレント・ホスピタルについて語り、そうなるよう意識的に取り組んできました。そのオリジナルは、アメリカ国内で三十八万部を売り上げ、ビジネス・ウィーク誌のベストセラーに認定されたQuint Studer著の「HARDWIRING EXCELLENCE」(日本では鐘江康一郎訳「エクセレント・ホスピタル」としてDiscover社より出版)で、この本よりいろいろと学んでいます。エクセレント・ホスピタルになるために医療者の価値観の根幹に「Purpose」, 「Worthwhile Work」, 「Making a Difference」を置き、これらの価値観によって医療者は情熱を喚起し、結果を出すために具体的な行動を実践して変化の推進力が創りだされます。エクセレント・ホスピタルを創る原則は、① Commit to Excellence、② Measure the Important Things、③ Build a Culture Around Service、④ Create and Develop Leaders、⑤ Focus on Employee Satisfaction、⑥ Build Individual Accountability、⑦ Align Behaviors with Goals and Values、⑧ Communicate at All Levels、⑨ Recognize and Reward Success、これらを一ひとつ実践しています。まず行ったことは、エクセレント・ホスピタルを創ることを決心することからでした。

われわれにはもう一つ大切にしているキーワードがあります。それは「サステナビリティ」です。病院の持続的成長(サステナビリティ)のためには、ステークホルダー(患者、地域医療機関、国、機構職員等)からの高い信頼感をえることが必要で、その為に診療・臨床研究・教育研修を一体的かつ持続的に提供し、それを成し遂げるために医療環境を改善するとともに多様な人材活用を行っています。少しニュアンスは違いますが、サステナビリティを「ころばんぞう」と言い換えてマスコミキャラクターにしています。ホームページには「ころばんぞう体操」のビデオも載っておりますのでご覧いただければ幸いです。

今後もしばばぬよう、エクセレント・ホスピタルを目指して頑張っていきたいと思っておりますので、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのますますのご発展を心からお祈り申し上げ、新病棟竣工のご報告いたします。



新病棟の内覧会を開催しました 3月19日

まつもと医療センターでは新病棟が完成し、平成29年3月26日(日)の開棟に当たり、3月19日(日)に一般内覧会を開催しました。

《内覧会日程》

日時：平成29年3月19日(日)

場所：まつもと医療センター松本病院敷地

新病棟内

時間：午前9時から午後0時30分

内覧経路：東6病棟(神経内科「ひだまり」)

↓西5病棟(呼吸器内科・結核)

↓西4病棟(血液内科「無菌病棟」)↓西3病棟(小児科)↓

東2(手術室・HCU)↓西2

病棟(重症心身障がい児(者))

↓東1検査エリア

《内覧会の様子》

午前8時30分、新病棟1階エレベーターホールに担当職員が集合し、ミーティング後、各フロアで準備につきました。開始前には、どの位の方々にお越しいただけるのか不安と期待がありました。午前9時前には来場者が少しずつ集まってくるのがわかり、その不安は払拭され、職員の士気も一層高まりました。午前9時、塩尻市五百渡太鼓による力強い太鼓



演奏が外来

正面に響き

渡るととも

に、内覧会

はスタート

しました。

内覧会手

順は、1

階でパン

フレットを見学者に配布し、6階最上階

までエレベーターで上がり、内覧経路に

より見学していただきました。一時期1

階エレベーターで順番待ちがでるほどと

なり、急遽予定外のエレベーターも使用

して対応しました。結果、地域の皆さ

ま・患者さん、医療関係者の皆さま、約

1000名

にご来場い

ただき、内

覧会は大盛

況に終わり

ました。ご

来場くだ

さった皆さ

まには心よ

り感謝を申



し上げます。

この内覧会を通じて職員は、地域の皆さまの当院に対する期待の大きさを感じることができました。新棟建築はとて

も喜ばしいこ

とですが、ま

つもと医療セ

ンターが目指

しているのは、

「この地域に住

んでおられる

方々の健康と

幸せ(内覧会



パンフレット院長挨拶)です。

その達成のため

に職員一同、

一層の努力を

してまいりた

いと考えており

ます。地域の皆さ

まの一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう

お願い申し上げます。



企画課



新病棟竣工記念式典

3月19日

まつもと医療センターは、新病棟の竣工記念式典を3月19日に挙行了いたしました。式典には、自治体、近隣の医療機関、大学関係者、建設工事関係者および国立病院機構関係者ら約150名が出席して、ともに新病棟の完成を祝いました。

新病棟の建設は、平成20年に松本病院と中信松本病院が組織統合して1施設2病院を運営する「まつもと医療センター」となってから、一貫して目標に掲げて構想を練ってきた事業です。

午後2時から新棟で開催された式典では、北野病院長が式辞で、新棟の完成はまつもと医療センターの歴史に於いて大きな一歩であり、これを弾みにして、より一層地域に貢献できるエクセレントな病院を目指し職員が一丸となって努力するとの決意を述べました。続いて、国立病院機構の楠岡理事長より挨拶があり、さらに菅谷松本市長、小口塩尻市長、山本長野県健康福祉部長（代読・鳥海松本保健福祉事務所長）、田中信州大学医学部長からそれぞれ祝辞を頂きました。院長と来賓の方々によるテープカットに続いて、松本市出身の音楽家で院長の個人教授の師匠でもある桂聡子さんによるフルート演奏が行われました。

式典の後の祝賀会は、内覧会の間に模



様替えした療育訓練棟で行われ、国立病院機構の古都（ふるいち）副理事長の挨拶、武田関東信越グループ理事の発声での乾杯に続いて、本郷信大病院長、吉江塩尻医師会長、金澤高崎病院名誉院長（当センター顧問）、勝山丸子病院長、岡田企画役、米山まつもと医療センター名誉院長の各先生方からスピーチがありました。病院OBの方々の再会もあり、和やかな雰囲気の中に閉会となりました。

式典会場の演壇の背面には、ヒマラヤ連峰のパノラマ写真が飾られました。世界最高峰の

エベレスト（8848m）とそれに連なるヒマラヤ山脈、その麓の氷河を刻むガンジス川の源流を遠望します。撮影は、松本市在住の医師・山岳写真家の林良一氏によるもので、このパノラマ写真はパネル化して新病棟1階のエレベーターホールに飾られています。

新病棟は3月26日に松本病院の旧病棟からの引っ越しを終えて、順調に診療が始まっています。現在、来年5月の中信松本の引っ越しに向けて、解体改装工事の真っ最中です。



副院長
大原 慎司
おおはら しのじ



松本病院が新棟に引っ越しました 3月23日～26日

まつもと医療センター新棟は2月に竣工し、内覧会に引き続き、竣工記念式典が3月19日に、松本病院の引っ越しが3月23日から26日にかけて行われました。新病棟は旧病棟の北側に、地下一階、地上部は東棟が6階、西棟が5階で構成され、東西2棟の間にエレベーター6基があります。

東棟1階はフロア全体が検査エリアです。北側に消化器内視鏡検査室が3室あり、並び奥の検査科には超音波検査、脳波、心電図などの検査室が、廊下を挟んで南側には放射線科のCT、SPECT、血管造影室、そして放射線治療装置のリニアックがあります。東棟2階には手術室4室があり、そのうち1つはクリーン度の高い手術室です。同じフロアに新設されるHCU8床は、中信松本病院が移転するH30年5月より運用開始となります。

松本病院血液病センターの旧4A病棟は、西4階病棟に移り、血液内科の一般病室の他、無菌治療室20床（病棟全体が無菌化）が開設され、非血縁者間同種造血幹細胞移植が本格的にスタートします。心不全センターの旧1C病棟は、東5階病棟に移り、循環器内科、消化器内科、内科の患者さんの、消化器病センターの旧2C病棟は東4階病棟に移り、外科、脳神経外科、消化器内科の患者さんの入

院病棟となっています。泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、内科の患者さんが入院されていた混合病棟（旧3A病棟）は、東3階病棟に移りました。

新病棟は各50床で、東西に平行に延びる2本の広い廊下の間にナースステーションや浴室などが置かれ、廊下を挟んで南側と北側に、個室と4人床で構成された病室が配置されています。病棟内のトイレは各病室の間に分散配置され、廊下側から入る構造となっています。ご要望の多い、洗面台にシャワーとトイレが付いた有料個室も完備しています。新しい建物は気密性が高く冷暖房の効きもよく快適な療養環境となっています。高



東5病棟

い天井と広い窓で高層階からの眺めは更に良くなり、西に常念岳から北アルプス、東に鉢伏山や高ボッチ、市街の景観も遠方まで一望できます。

現在の外来診療棟と新棟とは中央通路で接続しますが、旧病棟解体の間しばらくは仮設の渡り廊下で行き来することになり不便をおかけします。多くの皆様から寄せられる「次は新棟近くに新外来棟を」のご要望を、少しでも早く現実するため、センター職員一丸となって邁進して参ります。



個室（西4無菌病棟内）

統括診療部長

ふるた 古田

きよし 清

平成29年4月1日付で霞ヶ浦医療センターから配置換になりました事務部長の田中です。どうぞ宜しくお願いいたします。

長野県の施設での勤務は2度目となります。20年前、現在の信州上田医療センター（元長野病院）に2年間勤務させていただきました。その当時の信州上田医療センターは、東信病院と上山田にあった長野病院が統廃合するために新棟建替工事が終了し、3ヶ月後に長野病院の移転が決定され、毎日入札の準備に追われていたのを思い出します。

さて、私の生まれは群馬県の伊香保温泉であります。私の故郷は四方八方山に囲まれた寒さ厳しいところではありませんが、春は6種類のつつじがトンネルを作り、夏は高山植物の夏花が



事務部長
たなか こういち
田中 孝一



咲き、秋は草木が紅葉し山が色とりどりに染められるところです。この松本の地の環境もあまり変わらないのではないかと考えております。

また、松本に一歩足を踏み入れて思ったのは、なんと言っても、松本病院から見るアルプスの雄大な景色です。この最高の環境の地に転勤させていただいたことを、心より慶んでおります。

まつもと医療センターは、長年の念願であった一体化整備事業の新棟が完成し松本病院の機能が新棟に移行しました。まだ、全体の工事は終了しておりませんが、来年の5月には中信松本病院の引っ越しが終了し一体化が完了となります。

この新しい建物は、まつもと医療センター職員の夢と希望と期待が詰め込まれたものと思っております。皆様の思いも含め、地域医療に貢献するためには健全な経営を行わなければなりません。現在の経営状況は苦戦しているところではありますが、皆様のお知恵とお力をお借りして、コミュニケーションを図りながら、日々研鑽し気持ちを引き締め業務に取り組んで行きたいと考えておりますので、ご指導・ご協力の程宜しくお願いいたします。



薬剤部長
かつ み まなぶ
勝 海 学



この度、4月1日付で東京医療センターより異動して参りました薬剤部長の勝海です。どうぞ宜しくお願い致します。長野県での勤務は初めてとなりますが、この病院に勤務を始めてひとつ気付いたことがあります。それは院内ですれ違う職員の方々が皆さん挨拶をしてくださることです。当たり前のことなのでしょうが、東京の病院ではあまり見られない光景でしたので新鮮かつ好感を持ってました。このような環境の中で働けることを大変光栄に思っております。

さて、来年の5月にはまつもと医療センターとして2つの病

院が一体化し、新たにスタートしようとしています。そのような重要な節目の時期に勤務させて頂く中で、薬剤部においても病棟業務に力を入れて取り組みたいと考えています。薬剤師が病棟業務に関わる意義は、病棟スタッフとの連携により、医療の安全確保、薬物療法の質向上、副作用の防止や早期発見による重篤化の回避などに貢献することにあると考えています。そのうえで病院及び地域のニーズに応えることが出来るような薬剤業務を展開していきたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご協力の程、宜しくお願い致します。





管理課長
にしざわ としあき
西沢 智明

この度、4月1日付で東京都小平市の国立精神・神経医療研究センターより異動して参りました管理課長の西沢智明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、松本生まれの松本育ちで、実家も松本にあります。松本と申しましても、平成の大合併で松本市となりました四賀地区ですが。まつもと医療センターは、国立松本病院であった時期の平成9年1月より平成12年の3月までの3年3ヶ月勤務しておりまして、今回が2度目の勤務です。あの当時と変わったのは、中信松本病院と一緒に名

前が変わったこと、新棟が建てられ建物がとても綺麗になったことです。もちろん、当時勤務されていた方々で、知り合いの方も数名在職されており、大変懐かしく思いました。その当時の知り合いのボイラーの方と新棟屋上に行く機会があり、そこで北アルプスを眺めて改めて自然の美しさを感じました。特に小さな頃から何気なく眺めていた、常念岳ですが、中腹まである雪に太陽の光が差し、空の青と雲と雪の白のコントラストが絶妙で、再度、その自然美を痛感した次第です。

さて、現在、当センターは平成30年5月1日の中信松本病院との名実ともに一体化・統合に向けてその準備をしているところであります。管理課として統合に向けた環境整備、防火・防災対策の見直し、各種規程の見直し等と数え上げたらきりがないほど業務が山積しておりますが、管理課一丸となり解決していく所存でありますので何卒、ご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。



副看護部長
もも せ まり
百瀬 万里

この4月1日付で、東京都立川市にあります災害医療センターから参りました。

帰ってきましたといった方が正しく、私が看護師として働き始めたのは、まつもと医療センター・中信松本病院の前身だった国立療養所松本病院でした。その後中信松本病院となればばらくの間まで長くお世話になっていました。

東松本病院は小さな療養所でしたが、隣に県立寿台養護学校があることで学校に通いながら治療を受ける子供たちが小学生から高校生までたくさん入院をしていました。安静が必要で登校できない子供のところには学校の先生が病室に出向き、ベッドサイ

ドで授業をしていました。その情景にあこがれる未就学の子供には、病棟職員がベッドサイドで本を読み聞かせたりしていました。が、いつの間にか一人で眠りかけていたなんてことも思い出されます。夏の療育キャンプは近くの東山麓林業センターキャンプ場に病棟全員で二泊するのですが、心臓に重い病気を持つ女の子はいつもわくわくしすぎて当日にドキドキがひどくなり。夜に泣く泣く病院にもどされていました。彼女のお母さんは思春期に差しかけた彼女の心の成長をとて大事にしていたので、修学旅行でも遠くで見つからないように見守っていました。キャンプの夜も病院に戻って医師から「大丈夫ですよ、お母さん」と言葉を掛けられるとほっとされて、でも彼女に会わずにそっと帰宅していました。後を任してくださったお気持ちに胸を締め付けられました。

思い出深い患者さん方と出会うことができた大切な病院の最後の年に再び働くことに感謝しています。どうぞよろしくお願い致します。

HALの紹介

HAL (Hybrid Assistive Limb)® 医療用(下肢タイプ)

長野県下初。 ※機能改善治療用、ロボット医療機器が導入されました。

近年、リハビリテーション治療の分野にもロボット工学技術を導入し、より質の高いリハビリテーション治療の実施が進められています。その中で、CYBERDYNE株式会社製ロボットスーツHAL® 下肢タイプ(以下、HAL)は治療により一定の治療効果が認められ、安全性も証明されています。今回、当院でもHALが導入され平成29年1月より運用開始しています。

HALは下肢に障害のある方や、脚力が弱くなった方々を対象にした治療機器です。下肢が不自由となる原因の多くは脳・神経系の疾患にあります。このとき脳はいつもとどりの神経の経路を上手く使用できず、足の動かし方が分からなくなっています。また、身体機能の低下に伴う転倒などへの不安から、日常活動が減少しさらなる身体機能の低下を招くなどの悪循環が生じます。そこでHALは、「歩きたい」「立ちたい」という思いに従って装着者の足を動かし、「歩けた」「立てた」という感覚の



フィードバックをタイミングよく行うことで脳の学習を促します。さらに、転倒リスクのない安全な環境での運動を行います。



ここでHALの主な仕組みについて説明します。体を動かすとき、脳から筋肉へ神経を通してさまざまな信号が送られています。その信号は、生体電位信号として、皮膚表面に漏れ出ています。HALは装着者の生体電位信号を読み取り、それに応じて下肢を補助し、装着者自身の脚での、歩行や立ち座りをアシストします。

次に、実際の治療の進め方について説明します。入院や外来においてHALを装着し、歩行練習などのリハビリテーションを実施します。1回の歩行練習には、装着を含めて約1時間程度かかります。HALの使用回数は9回を1クールとし、治療前後

に治療効果を見るために身体計測・筋力測定・歩行評価など必要事項について評価します。1クールで終了となり、その効果の判定を行います。その後、継続してHALによる歩行練習を希望される方は、主治医との相談により進めていただきます。

「ロボットスーツ HAL」の主な仕組み



HALによる治療の対象は、現在のところ左記の8疾患を有している患者様となっています。今後、対象疾患は増えていく予定であり、治療も進められています。HALのご希望の患者様は、主治医の先生にご相談の上、中信松本病院の神経内科へ相談下さい。

※対象疾患は以下の8疾患となります。

- ① 脊髄性筋萎縮症
- ② 球脊髄性筋萎縮症
- ③ 筋萎縮性側索硬化症
- ④ シャルコー・マリー・トゥース病
- ⑤ 遠位型ミオパチー
- ⑥ 封入体筋炎
- ⑦ 先天性ミオパチー
- ⑧ 筋ジストロフィー

神経内科
リハビリテーション科

第3回 六病院研究会を終えて

2月18日

最終段階（終末期）の医療のガイドラインは、その人らしさを尊重するための意思決定のプロセスであり、意識



第3回六病院研究会が平成29年2月18日（土）午後に松本病院会議室で行われました。六病院研究会は、塩尻、松本南部を主な診療圏とする病院である上條記念病院、桔梗ヶ原病院、塩尻病院、塩尻協立病院、中村病院、当センターの職員を会員とし、会員が持ち寄る病院での医療上の問題、研究成果について検討ならびに情報交換を行い、地域の住民により良い医療を提供することを目的とし、年1回持ち回りで開催しています。

第1回は平成27年1月に当センター、第2回は平成28年2月に上條記念病院が当番世話人で開催されてきました。

今回は、桔梗ヶ原病院が当番世話人となり、「認知症をめぐる諸問題」をテーマに、松本病院会議室にて開催されました。

特別講演と各施設からの自由演題の2部構成で、第1部は「高齢者ケアにおける意思決定プロセスについて」、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センターの上廣講座特任准教授会田薫子による特別講演がありました。

① 「認知症・せん妄患者の多職種チームでの介入を行う」

当センター 中信松本病院 星野由美子

② 「認知症ケアチームの取り組みと課題」

その後の第2部では、今回のテーマである認知症についての取り組みについて各施設から発表があり、こちらも活発な質疑が行われました。

「認知症の役割である」とのお話でした。参加者の方々は先生の豊富な経験談を交えた講演に熱心に聞き入り、活発な質疑が行われました。



障害が重篤な脳血管障害の患者を例にとれば、人工的な水分や栄養補給（AHN）の選択は、本人にとって何が最善かという視点から家族とスタッフがよく話し合い一緒に考える

- ③ 「認知症患者への個別的アプローチ」
上條記念病院 小松 優
桔梗ヶ原病院 武居由美子
 - ④ 「認知症利用者に対する身体拘束廃止の取り組み」
老人保健施設こもれび（塩尻病院）
西村喜光、下岡まつみ
 - ⑤ 「介護負担軽減の再考〜その人を支えるサービスとは」
老人保健施設萌生の里（桔梗ヶ原病院）
寺田 昌平
 - ⑥ 「地域と繋がる健康づくりコミュニティ「笹賀ケアひろば」をスタートさせて」
上條記念病院 本庄 大介
- 今回は塩尻協立病院が当番病院となり、平成30年2月17日（土）午後開催されます。本研究会は六病院の職員であれば誰でも自由に参加できます。この研究会が、共通の医療圏で活動する六病院の職員の顔の見える交流の場として、また医療でのさまざまな経験と共有する場として、さらに発展してゆくことを期待しています。



六病院研究会事務局
経営企画室長

加藤 道男

平成28年度 第2回院内研究発表会

臨床研究部長 武井 洋一
たけい へいいち

平成28年度、第2回院内研究発表会が2月17日金曜日、中信松本病院第一会議室で開催されました。臨床研究部主催の院内研究発表会は年に2回、秋と冬に開催しています。各部署の研究成果をお互いに発表しあい、他部署の取り組みを理解するとともに、医療水準の向上を目指すことを目的としています。秋の第1回研究発表会は、国立病院総合医学会の予行を兼ね、大部分がポスター発表であるのに対し、第2回院内研究発表会は、例年スライドを用いた口演による発表を行っています。まつもと医療センターは新病棟が完成し、3月の松本病院病棟の引っ越しを目前に控えた忙しい中にもかかわらず、多くの職種の方々に参加、発表していただき、2時間ほどの研究会では活発な討論が行われました。

それぞれの発表に対して座長ならびに病院幹部による投票が行われ、評価が高かった発表2演題に対し優秀賞を、

加えて4演題に奨励賞が選ばれました。後日表彰とともに、優秀賞には研究費5万円、奨励賞には研究費1万円が贈呈されました。贈呈された研究費が今後の研究の一助となることを期待しています。また平成29年度も同様の発表機会を設けさせていただきます。職員の方々にはふるってご参加、ご協力いただくようお願いいたします。



表彰 松本病院



学会の様子 1



学会の様子 2



表彰 中信松本病院

平成28年度

まつもと医療センター院内研究発表会 表彰

🌸 = 優秀賞 ★ = 奨励賞

🌸	巧緻動作の苦手さを持つ児に対する作業療法介入の一例	リハビリテーション科	田中 明莉
🌸	点滴が必要な患者の意思を尊重した退院支援	相談支援センター	山本 理紗
★	重症心身障がい児(者)病棟における感染予防対策強化への取り組み ～擦式手指消毒剤の使用の実際～	4病棟	斉藤 範子
★	オムツ改革！ ～患者・スタッフ・病院の未来を見つめて～	7病棟	高島 高浩
★	化学療法中に口腔粘膜炎を発症する患者の実態は何か？ ～口腔内アセスメント表と口腔ケアパンフレットを使用しての要因分析～	4A病棟	笠原 邑斗
★	まつもと医療センターでの電子カルテ化の経験	臨床検査科	青木悠太郎

新任・退任医師紹介



新任
医師

松本病院

よろしくお願いします



■血液内科



まつ ざわ しゅう じ
松澤 周 治
血液内科医師
平成26年卒
専門：血液内科

内科学会 血液内科学会

初めての松本病院ですが、頑張ります。

■研修医



さ さ き のぶ かず
佐々木 信 和
平成29年卒
専門：初期研修医

松本での生活はそこそ長くなってきましたが、当院での研修は始まったばかりで日々わからないことだらけです。真新しい病棟の設備で研修が出来る喜びを感じつつ、有意義な時間を過ごせるようにします。よろしくお願いします。

■研修医



き む ら しょう こ
木村 祥 子
平成29年卒
専門：初期研修医

高校卒業後しばらく離れていた長野県に戻ってきました。新病棟の窓から見えるキレイな松本の山々に癒されています。2年間お世話になります。どうぞよろしくお願いします。



新任
医師

中信松本病院

よろしくお願いします



■小児科、消化器科



さ ど とも みつ
佐 渡 智 光
小児科、消化器科医師
平成26年卒
専門：小児科、消化器科

日本小児科学会、日本小児栄養消化器肝臓学会、
日本内視鏡学会、日本ヘリコバクタ学会、
日本炎症性腸疾患学会
松本の子供の診療に貢献します。

■呼吸器内科



むか い ゆう いち
向 井 雄 一
呼吸器内科医師
平成24年卒
専門：呼吸器内科

内科認定医
よろしくお願いいたします。

退任
医師

松本病院

■血液内科

かわ かみ ふみ ひろ
川 上 史 裕
血液内科医師

■臨床研修医

なが しま だい すけ
長 島 大 介
臨床研修医

■臨床研修医

こ まつ のぼる
小 松 登
臨床研修医

■臨床研修医

みず はた かい
水 畑 戒
臨床研修医

退任
医師

中信松本病院

■呼吸器内科

きん しょう たくみ
金 城 匠
呼吸器内科医師

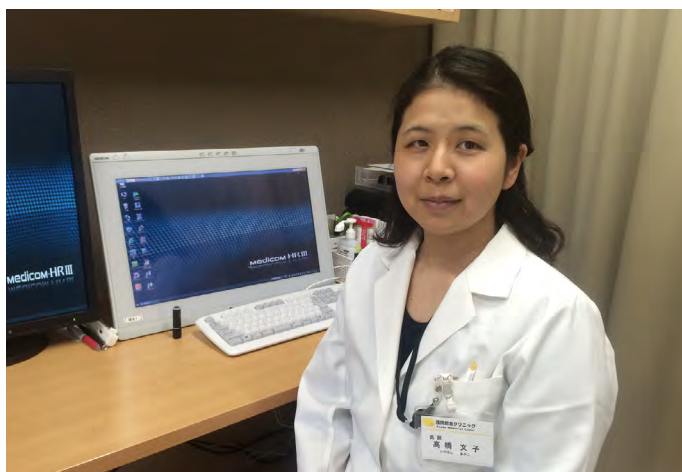
■小児科

よし かわ けん たろう
吉 川 健太郎
小児科医師

お世話になりました



浅田記念クリニック 紹介



たかはし あやこ
高橋 文子 先生



診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祭日
午前8:45～12:00	○	○	○	○	○	○※	×
午後15:00～17:00	○	○	○	×	×	○※	×

日曜・祝祭日は休診となります。※毎月第2土曜日は休診となります。

〒390-0852 長野県松本市大字島立3879-4
TEL (0263) 88-9588 FAX (0263) 88-9288
URL : <http://www.asadamc.jp>

患者さんの家族全員にお会いすることも多い。

開業していると、勤務医時代とは違い、
まつもと医療センターの皆様には、いつも大変お世話になっております。
当院は昨年、平成28年4月に開院したばかりの、松本市島立にある、内科・循環器内科クリニックです。

〈クリニック名の由来〉

浅田宗伯という、漢方医をご存じでしょうか。
開業した場所は、江戸末期から明治にかけて、国医として徳川將軍家と明治政府天皇家に仕えた漢方医、浅田宗伯の生誕地です。「浅田館」の処方を考案したことでも、知られています。今からおおよそ200～300年前、宗伯の父と祖父がこの地で開業しており、同地にその子孫である私が開業したことを「記念」して、浅田記念クリニックと名付けました。

〈自己紹介と診療内容〉

松本市の小学校・中学校・松本深志高等学校を卒業しました。大学は県外でしたが、卒業後長野県に戻ってきました。以後は、まつもと医療センターを始め、長野県内の病院に勤務させて頂きました。専門分野は心臓・血管の病気に関連した、循環器内科ですが、総合診療科で勤務した経験を活かして、広く内科一般に対応しております。

大学病院では、心臓超音波検査（心エコー）に関する研究・検査に従事して、医学博士号を取得しました。健康診断で異常を指摘された場合や、動悸・息切れ・胸痛・むくみなどが気になった際には、ご相談下さい。

開業していると、勤務医時代とは違い、患者さんの家族全員にお会いすることも多い。

くなりまして。また、診察ではなくても、立ち寄って下さることがあり、こういうつながりが開業医の喜びのなかなと感じています。

まつもと医療センターとのご縁について、少しお話させてください。
私の父は、泌尿器科医で米山威久と申します。長く泌尿器科医として勤務しておりますので、ご存じの方もたくさんおられるかと思いますが、私は、中学生の頃に虫垂炎になり、松本病院で手術して頂きました。執刀して下さった外科の先生・優しく接してくださった看護師さんを間近に見て、純粋に医師という職業に憧れました。

月日が流れ、私も松本病院で勤務させて頂くことになり、開業した今でも、週に1回外来を担当しています。まつもと医療センターには、尊敬して信頼できる先生方がたくさんおられますので、患者さんをご紹介の際には安心してお願いしております。

はじまったばかりのクリニックですが、地域の皆さんから、信頼され愛されるクリニックを目指して、誠実に診療したいと思っています。

春には樹齢100年を超える庭の桜が満開で、来院された方々にお褒め頂きました。クリニックの庭には、患者さんから頂いたお花やハーブも植えており、四季折々の美しい花々が咲いておりますので、ご来院の際には是非ご覧になってください。





医療安全研修会「DNAR Do Not Attempt Resuscitationについて」

～あなたのDNARは大丈夫？～

東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部 診療部長・准教授 患者支援センター長 三浦 靖彦先生をお招きし、「DNARについて」と題し、講演会を開催いたしました。

「DNAR」とは、『心肺蘇生術（CPR）を実施しないという**患者の意思・事前指示に沿って医師が出すオーダー**』です。しかし、「DNAR」という指示が出る現場では、食事量・飲水量が減ってきた時の点滴や貧血が進行した時の輸血などの医療行為に対して「DNARなのに、まだ点滴やるんですか??」等聞かれる事がある。DNARを正しく理解していない場合、訪室回数が減る、ケアの質が低下する、また、他の医療行為まで控えられてしまい、人としての尊厳が保たれなくなってしまう可能性もあるということでした。

わが国における終末期に関連したどのガイドラインでも、「十分なインフォームド・コンセントを」「本人の意思を尊重し」と謳っています。インフォームド・コンセントは初めての受診から最終段階まで、その都度必要になり、また、意志決定のプロセスでは情報共有と合意が重要になります。

日本臨床倫理学会の臨床実践に対する基本理念として、患者の自律（Autonomy）



を尊重することによって適切な医療の意思決定プロセスを確保し、よりよい医療者－患者関係を築くことがあげられています。医療の質の向上を図ることも、医療現場の現状に即して、実際に現場で使える指針『日本語版 POLST (Physician Orders for Life Sustaining Treatment)』が作成されました。その中では、DNAR指示によって提供される医療の質を落とすとはならないこと、そして「その患者にとって」「その時点で」「最もふさわしい医療ケア」を患者と共に考え、緩和ケア的アプローチを含めて提供することが重要とされています。

意志決定のプロセスにおいて、患者さん本人に意思能力がある早い段階からのコミュニケーションが重要である今回の研修で学びました。医療職として、またはいつかその立場になるかも知れない患者者本人として、家族としてDNARについて考える良い機会となりました。そして、今後により良い患者・医療者関係を構築していきたいと考えます。



医療安全係長 黒田 百合



看護部 コンチネンスケアチーム会について

コンチネンスケアとは、排泄障害（尿・便が漏れる、出にくい、回数が多いなど）に関する「予防・治療・ケア」を総称しています。人は生涯排泄をしています。その排泄は、加齢や病気、怪我など様々な原因で障害を受けることがあります。

今年度立ち上げたコンチネンスチーム会は、「排泄障害の予防、障害があっても問題なく過ごすことができるために、ひとりひとりに合わせたケアの提供」を目指して活動を広げていきます。

今年度は、排泄ケアに関連した学習会で知識を深め、患者さんのベッドサイドへ行き、気持ちよく排泄ケアができるようにケアを提案・実施できることに力を入れ活動していきます。



皮膚・排泄ケア認定看護師

永山 佳代

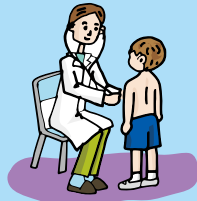


平成29年度まつもと医療センター出前講座

★病気の診断、治療、予防について

()内は講座担当者です。

1. 医療倫理について (院長 北野 喜良)
2. 血液がんについて (院長 北野 喜良)
3. 貧血の診断と治療 (院長 北野 喜良)
4. HⅠV感染症・エイズの診断と治療 (院長 北野 喜良)
5. 白血病の診断と治療 (院長 北野 喜良)
6. 頭痛に困ったら (副院長・地域医療連携室長 大原 慎司)
7. パーキンソン病について (副院長・地域医療連携室長 大原 慎司)
8. 脊髄小脳変性症について (副院長・地域医療連携室長 大原 慎司)
9. 職場のメンタルヘルス (副院長・地域医療連携室長 大原 慎司)
10. ウイルス肝炎からメタボ肝がんへ (統括診療部長 古田 清)
11. ものわすれと認知症 (臨床研究部長 武井 洋一)
12. 肥満と糖尿病：ヒトはなぜそんなに食べるのか？ (外来診療部長 青木 雄次)
13. 安全・快適な手術のために～麻酔科医の役割とご自身にできること～ (手術部長 井上 泰朗、麻酔科医長 新倉 久美子)
14. 『慢性腎臓病 (CKD)』について (内科部長 樋口 誠)
15. 内視鏡で治療できる消化器がん (消化器内科部長 宮林 秀晴)
16. あなたの中にもピロリ菌～胃潰瘍・胃がんとピロリ菌の関係 (消化器内科部長 宮林 秀晴)
17. 逆流性食道炎について (消化器内科部長 宮林 秀晴)
18. がん健診の上手な受け方 (外科部長 北村 宏)
19. 造血幹細胞移植について (血液内科医長 伊藤 俊朗)
20. 『高血圧症』に関する話題 (循環器内科医長 笠井 宏樹)
21. 『脂質異常症』に関する話題 (循環器内科医長 笠井 宏樹)
22. 『動脈硬化症』に関する話題 (循環器内科医長 笠井 宏樹)
23. 『心不全』に関する話題 (循環器内科医長 笠井 宏樹)
24. 小児の「肥満・メタボリック症候群」 (小児科医長 倉田 研児)
25. 耳が関係するめまいについて (耳鼻咽喉科医長 後藤 昭信)



★救急への対応



()内は講座担当者です。

26. 初夏からの脱水症予防 ～ちょっと一杯いかがですか～ (救急看護認定看護師 飯ヶ濱 実)
27. 各事業所単位のAED講習 ～お客さま・社員を救えますか～ (救急看護認定看護師 飯ヶ濱 実)
28. 心臓マッサージ・AED講習 ～地域住民の命を守りたい～ (救急看護認定看護師 飯ヶ濱 実)
29. 小・中学生のための救命講習 ～大切な命・救える命～ (救急看護認定看護師 飯ヶ濱 実)

★健康増進

()内は講座担当者です。

30. 健康増進のためのアンチエイジングの知識 (外来診療部長 青木 雄次)
31. 少しでも腰の痛みを軽くするために！ (理学療法士 有賀 一郎、岡崎 瞬、松岡 大悟)
32. 嚥下 (えんげ) について ～嚥下体操♪～ (言語聴覚士 平林 孝恵、藤原 有紀)
33. 減塩は体にやさしい食事 (栄養管理室長 間瀬 茂樹)



★生活・介護に役立つ知識

()内は講座担当者です。

34. 家庭でできる感染対策 (インフルエンザ・ノロウイルス) (感染管理認定看護師 平林 亜希子)
35. お子さんが感染性胃腸炎にかかったら… (感染管理認定看護師 平林 亜希子)
36. 手洗いでばい菌バイバイ (^_^) / ~【こども・親子向け】 (感染管理認定看護師 平林 亜希子)
37. がんとともに生活するためには ～自分らしく生きるためには～ (緩和ケア認定看護師 山添 美保、唐澤 由美)
38. 放射線ってこわいの？今だから理解しませんか (照射主任 飯塚 一則、診療放射線技師 久木 裕也)
39. いろんな装置で撮影できます！放射線検査あれこれ (照射主任 飯塚 一則、診療放射線技師 久木 裕也)
40. 知っておくと安心。もしも病気になったら…医療のこと、介護のこと、福祉のこと (相談支援センタースタッフ)



お知らせ



まつもと医療センター



まつもと医療センターへのご紹介について
当院は、お電話またはファックスで紹介患者さんの予約をおとりしています。診療当日、お待たせしないためにも、ぜひ事前に予約していただくようお願いいたします。

※紹介状をお持ちであれば患者さんご自身からのお電話でも予約が可能です。
※予約のお電話・お問い合わせは両病院の地域医療連携室までお願いいたします。

まつもと医療センターへのご紹介について

松本病院

勉強会

診療所の先生方とセンター医師合同の勉強会です。
毎月第3木曜日
内科・外科勉強会
松本病院第2カンファレンスルーム
19:00～20:00

理念

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

基本方針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切に、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院経営を行います

患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り、最善の医療を提供するように努めます。

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利

まつもと医療センター

第31号 平成29年6月1日発行
発行人 院長 北野 喜良

松本病院

〒399-8701 長野県松本市村井町南2丁目20番30号
TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

中信松本病院

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811
TEL.0263-58-3121 FAX.0263-86-3190

<http://mmccenta.jp/>

●編集後記●
松本病院の引越しも無事に終わりました。
「あしたやろうはバカやろうー」。
この編集後記も明日書こうと思ひ、何日経ったのか？
「明日」ではなく今できることを日々奮闘する中で成長できると思ひ、この言葉を自分の心にかけています。大きく変化を遂げているまつもと医療センター。患者さん、お医者さん、看護師さん、相談員さん等々様々な人がいます。病院はたくさんの方が「うでさるごと」に精一杯、立ち向かっている環境。だから、たくさんさんのドラマが生まれるのですね。
(1)

